

地域主催 市政改革 市民派無所属
府中市議会議員

ゆうきりょう

市政
通信



毎日ブログ更新中

結城りょう



府中市が9月補正予算で保育所、幼稚園、学童クラブ、小中学校に新型コロナウイルス感染症対策費用を計上します

府中市は9月議会において、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として10事業、総額36億円の補正予算を計上しています。そのなかで要望の多かった保育所、学校での感染防止策に予算を追加しています。私立・公立保育所、学童クラブ、私立幼稚園に補正を計上し、いずれも消毒液、非接触型体温計購入、手回し式蛇口の一部をバーハンドル式などに交換するものなどを予定しています。

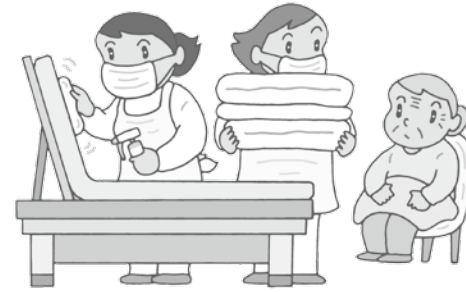
新型コロナウイルス対策として小・中学校の臨時休校にともなう学習支援対策の事業費も計上します

また今回の第2次補正予算のなかには「小中学校の臨時休校等にともなう学習支援対策」として1事業、16億2千万強の予算を計上しています。内容としては「児童、生徒に対するタブレット端末1人1台の整備にむけた校内通信ネットワークおよび、タブレット端末の整備、および不要となるパソコン教室の既存パソコンの解約をするもの」とし、具体的には①校内通信ネットワーク整備、②児童用タブレット端末の整備として13,181台、③生徒用タブレット端末の整備として5,236台、④パソコン教室の既存パソコンの解約を予定しています。

これらの学校教育ネットワーク事業の拡充策がひとつ前進することとなりました。今後も引き続き、児童、生徒さんたちにとって支障のない学校授業の改善について要望していきたいと思います。

新型コロナウイルス感染拡大防止策について、この間、介護の現場で働く方々からよせられた要望などにもとづき質疑を行いました

…結城りょう 9月議会の一般質問から



質疑1 介護事業所からマスク、防護服など感染防止備品の支給要望があった際の市の対応は

⇒市の答弁「マスクは都からの提供分17万4000枚を配布、今後も各事業所に手袋、介護

用エプロンなどを支給予定、今後も介護事業所と情報交換をしながら必要な対応を図る」。

質疑2 介護事業所において財政的に厳しい事業所から感染防止に必要な物品について支援を求める事業所に対して、財政支援を求めたところ、

⇒市の答弁「介護事業所の運営が経済的に厳しい状況にあるものと認識している」とし、「今後の拡大状況や国、都お動向を注視し、必要とされる支援を検討していく」。

質疑要望3 他にも介護事業所、ケースワーカーとの緊密な情報連携、市と多摩府中保健所との協力体制などについて要望しました。引き続き、介護現場で働く方を守るための施策を国や都にも求めると同時に、府中市としてできる可能な施策の実現のために取り組んでいきます。

府中市の新型コロナウイルスの感染者数は、258人で人口1万人あたり「9.8人」、多摩地区で「4位」（9月27日現在）

東京都は9月1日から、都内の市町村に毎週1回週報として情報を提供することになりました。そこで府中市のホームページに発表された東京都からの週報について、以下表で掲載します。

それによると、府中市全体の新型コロナウイルス感染者数では、9月27日現在258人となり、人口1万人あたりにすると、9.8人で多摩地区では「4位」です（「1位」は武蔵野市の10.71人、「多摩地域30市町村・新型コロナウイルス感染症情報まとめ」のホームページによる）。

市内の介護老人施設「ウイング」でクラスターが発生しました

9月25日付の府中市のホームページ「新型コロナウイルス感染情報」によると、府中市の介護老人施設「ウイング」（四谷）で新たに施設利用者の方6名、職員1名の方が新型コロナウイルスに感染し、合計42名の感染者が発生したとしています。同施設のHPでは「感染拡大防止のため受け入れを中止し、施設入所、短期入所療養介護、通所リハビリテーションについては再開の目途はたっていない」としています。このクラスターは4月の朝日町の警察学校の規模以上の中身になっています。

私もこの事態を重く見て、市の担当課に対して今回の介護老人施設「ウイング」での新型コロナウイルス感染拡大（クラスター）が起きた背景、今後の教訓を導き出すために、緊急の申し入れを行う予定です。

府中市の新型コロナウイルス感染者は家庭内感染が比較的多い…東京都が家庭内感染を防ぐために啓発動画を制作

府中市の新型コロナウイルス感染者の中身について、高野市長も自身のツイッターで指摘していますが、比較的、家庭内感染が多いのが特徴です。そこで東京都では「家庭内感染での感染リスクを広く認識してもらうことが、感染拡大を防ぐカギになる」として、動画を作成したとしています（9月12日付朝日新聞多摩版）。

記事によると「都のモニタリング調査によると、今月1～7日の感染経路の割合では、家庭内感染が37.4%と一番多い」とのことです。東京都では「タレントの鈴木福さんらを起用した動画『家庭でも、感染しない、させない』をテーマに注意事項を紹介している」とし、「都がインターネット上に開設する『東京動画』などで視聴できるほか、テレビCMでも放映する」とのことです。府中市においても、これを機に家庭内感染を防ぐための啓発の促進を求めたいと思います。

9月1日～22日までの府中市の新型コロナウイルス感染者の状況（東京都からの週報から）

感染者の年代	男性	女性
10歳未満	1	2
20代	2	1
30代	2	2
40代	1	3
50代	6	1
60代	1	3
70代	2	2
80代	2	7
90代	1	3
合計数	18	24



府中第五小学校で保護者が新型コロナウイルスの校内消毒「スクールサポーター」結成

9月9日付読売新聞多摩版に府中第五小学校（児童数750人）の保護者が、学校内で新型コロナ対策として校内消毒を行う「スクールサポーター」を結成したという記事が掲載されています。

記事では一連のコロナ対応で教員の仕事の負担が過重になっているとして、保護者の方々が自主的に行動をしているといいます。「府中5小では7月の学校運営協議会で学校側の苦勞を知った保護者らがサポーターの結成を提案。現在、65人のメンバーが登録し、月曜から金曜の放課後に行う消毒作業には当面、10人程度がボランティアで参加する見通し」とのことです。記事では「布宮校長は『教員の負担が減って授業の充実につながり、子どものためにもなる。教員も保護者も思いは同じで、大変ありがたい』と感謝」。府中市内の公立学校でこうした保護者の取り組みは初めてのことだそうです。こうした取り組みについて、行政側も何か支援措置ができれば、保護者の方々も喜ぶのではないのでしょうか。

府中駅周辺の「にぎわい創出事業」はいかに… 中心市街地活性化計画に投じた市税は1億円以上、現局面は厳しい 状況打開なるか

伊勢丹撤退、新型コロナの影響など「不運」重なる

府中市は平成28年（2016年）に府中駅周辺のにぎわいを取り戻すために、「中心市街地活性化計画」を策定し、国からも事業認定をうけて補助金も活用、「にぎわい創出事業」をスタートしています。この間平成29年（2017年）から令和2年度まで、市独自財源で総額約1億1800万円を計上してきました。国からは都市部では初めて「中心市街地活性化事業」の認定をうけた府中市ですが、現在の進捗状況は極めて「厳しい」局面にあります。

一方で令和元年9月末に伊勢丹府中が撤退、今年の春先からは新型コロナの影響と経済活動の低迷、東京オリンピック、パラリンピックの開会延期となるなど「不運」な状況が続いています。数年前、読売新聞が朝刊1面に政府による「中心市街地活性化計画」についての記事を掲載し、「都市の中心部のにぎわいを取り戻すために作られた、中心市街地活性化基本計画が『空振り』に終わるケースが相次いでいる」「実施を終えた109市の人口や店舗数などの目標の達成率は3割にとどまり、実施前より悪化したケースは5割に上ることが読売新聞の調査でわかった。商業・観光施設の整備などに、この10年間で国の補助金を含め計2兆3200億円が投じられたが、急速に進む人口減などの影響で街の再生は難航している」としています。

伊勢丹府中の後継テナントとしては、家電量販店の「ノジマ」が決まり、来年春から夏にかけて出店を予定しています。これが府中の活性化の「決めて」となるか…「成否」のカギを握ります。

府中市の生涯学習センターの講座で「新型コロナウイルスにどう向き合うか」など、今日的に興味のある講座を期待したい（市民の方の声から）

今日の生涯学習センターの講座内容は、時勢の敏感さや問題意識が極めて希薄で、新鮮さに乏しくないか

先日お手紙で府中市の生涯学習センターに関する講座内容の件で要望をいただきました。

「この10月からの講堂での講座内容は3回以上の連続講座4本のうち、2本は長年の同一講師による文学と美術、あと2本が音楽関連の講座です」「その内容やバランスからしても現代に生きる人々、府中市民の多様な期待と要求に応えるものと思えません」。

「たとえば今日の市民にとって新型コロナに関する問題こそ最大の関心ごとです」「教養講座としてやるべきことは、コロナへの理解を深める基礎的な知識を提供することではないでしょうか。たとえば『ウイルスと人類の戦いの歴史』『日本人と感染症』『新型コロナ問題を考える基本』とかの講座こそ今やるべきことではないでしょうか」。

他にも「今日多発する水害や災害の課題、また府中市特有の歴史として市内には重要な街道が多数あることから、『街道が語る府中市』とか大変興味深い提案をいただきました」。

「今の生涯学習センターの講座内容は、そんな敏感さや問題意識が極めて希薄で、新鮮さに乏しく、魅力に欠け、まるで『企画展のない美術館』のようだ」と感想を漏らしておられます。

西武多摩川線 多磨駅の新設ホームについて 10月24日から使用開始

9月25日の府中市のHPによると、西武多摩川線多磨駅の新設ホームについて、10月24日から使用開始になると伝えてあります。以下、市のHPから転載します。「現在、多磨駅改良整備工事を実施しているところですが、令和2年10月24日（土曜日）の初電車より、全ての電車が新設ホームより発車することとなり、これまで使用していたホームと駅構内の踏切は廃止されます。この度の新設ホームの使用開始に伴い、10月24日（土曜日）以降は踏切を渡らずにホームをご利用いただけることとなりましたので、お知らせします。引き続き工事を実施してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。」



府中市議会 9月定例会の動き

- ★9月議会において、市民団体の方から提出された「生活保護制度に夏季加算を新設する」意見書採択を求める陳情が賛成多数で可決され、結城りょうも賛成しました。
- ★令和元年度（2019年度）府中市の決算認定に、結城りょうは反対をしました。

結城りょうに 府中市政へのご意見、ご要望をお寄せください

ぜひ府中市に対する要望について、新型コロナウイルス感染拡大防止策でしに要望したい方、また市政全般の事柄について、ご要望のある方は、私の下記のメールアドレスに、お気軽にお寄せいただければと思います。こちらからメールで返信もさせていただきますので、よろしくお願いたします。メールアドレス yuki4551@ozzio.jp

電話の場合は、留守電にコメントを入れていただければありがたいです（電話にできない場合もあり、後程こちらから掛けさせていただきます）。電話 090-4136-7642

また私、結城りょう はホームページのブログを毎日更新しておりますので、そちらもぜひご覧いただければ嬉しいです。「ホームページ検索→結城りょう」



府中市議会議員 結城りょう プロフィール
昭和45年（1970年）5月11日生、横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、労働組合事務局などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員（現在、2期目）。所属する委員会は現在、厚生委員会、基地等跡地特別委員会、公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会、府中市都市計画審議会委員。現在は無所属で一人会派「市民の風」に所属。